

令和6年度学校経営方針 (School Management Policy)

戸田市立戸田東中学校
(*Toda Higashi Jr. High School*)
校長 鈴木 研二

本校の概要

1 開校65年目

2 生徒数

1学年	5学級	162名	(-35)
2学年	5学級	194名	(+19)
3学年	5学級	178名	(+20)
特支	3学級	15名	(+1)
合計	18学級	549名	(+3)

3 教職員数

県費教職員	33名
市費教職員	15名

「研究主題」

未来社会を創造する児童生徒の育成

～副主題～

**「協働的な学びと探究的な学習活動を充実する
カリキュラム・マネジメントの推進」**

～GIGAスクール構想とPBLの推進～

**「10年後、20年後の生徒を
見据えた教育活動の創造」**

学校教育目標（目指す生徒像）

「グローバル社会で、将来、
豊かに生き活躍できる児童生徒の育成」

- 1 **（豊かな人間性を持つ生徒）** 自己を大切にし、他者を尊重し、対話や協働を通じて、共に幸福で豊かな社会を築いていける生徒
- 2 **（可能性に挑戦し続ける生徒）** 自ら将来像を描き、夢と志を持ち、可能性に挑戦し続ける生徒
- 3 **（主体的に学び続ける生徒）** 自ら課題を見つけ、身に付けた知識や技能を活かし、生涯にわたって主体的に学び続ける生徒

生徒に身に付け
させたい力

グローバル
・スキル
(Global Skill)

○21世紀型スキル

(自律的学習力、課題発見解決能力、ITスキル、論理的思考力等)

○汎用的スキル

(知識や技能を現実の社会で使いこなせる力等)

○非認知スキル

(やり抜く力、探求力、自己肯定感、協調性、多様性理解等)

戸田東中学校研究推進体制

- **文部科学省 授業時数特例校**
(令和4年度～)

- **戸田市教育委員会 研究委嘱校**
(令和4・5・6年度)

主題：未来社会を創造する児童生徒の育成

**副題：協働的な学びと探究的な学習活動を
充実するカリキュラム・マネジメント
の推進（PBLと教科等）**



方針 1 確かな学力の育成

「教え」から 「学び」への転換

目標 1 主体的・対話的
で深い学びの実現に向け
た授業改善の推進

●アクティブ・ラーニング
(AL) の視点に立った
魅力ある授業づくり

●未来の教育を見据え、ICT
を積極的に活用した
授業づくり

●一斉講義型授業からの
脱却と校内研修の充実
(学び・思考・表現の重視)

●学力の3要素、
「知識及び技能」「思考力・
判断力・表現力等」

「学びに向かう力、人間性
等」のバランスの重視

方針 1 確かな学力の育成 「東雲授業スタイル」

戸田東中 21世紀型 授業への転換

目標 2 個別最適な学びと協働的・探究的な学びの実現

① P C のマストアイテム化（全教科で一人一台の P C の文房具的活用）

② 一斉講義型授業からの脱却、「教え」から「学び」への転換

③ 主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）の実現

④ 小グループ配置による「協働的な学び」「探究的な学習活動」の実現

⑤ 深い学びにつながる教員の発話や課題設定「ジャンプの学び」

⑥ プリント学習の見直しや削減、電子プリントや反転学習へのチャレンジ

⑦ 思考・判断・表現力育成の視点に立った学習プリントやテストの活用

⑧ 学習者用並びに教師用デジタル教科書の日常的な活用

⑨ 21世紀型教師への変容（学びのファシリテーター）

⑩ E B P M (Evidence-Based Policy Making) による検証と改善策の策定

目標3

GIGAスクール構想の実現



未来につながる学力の育成

「重点目標」

自立した学習者の育成

→ 「学びに向かう力、人間性等」

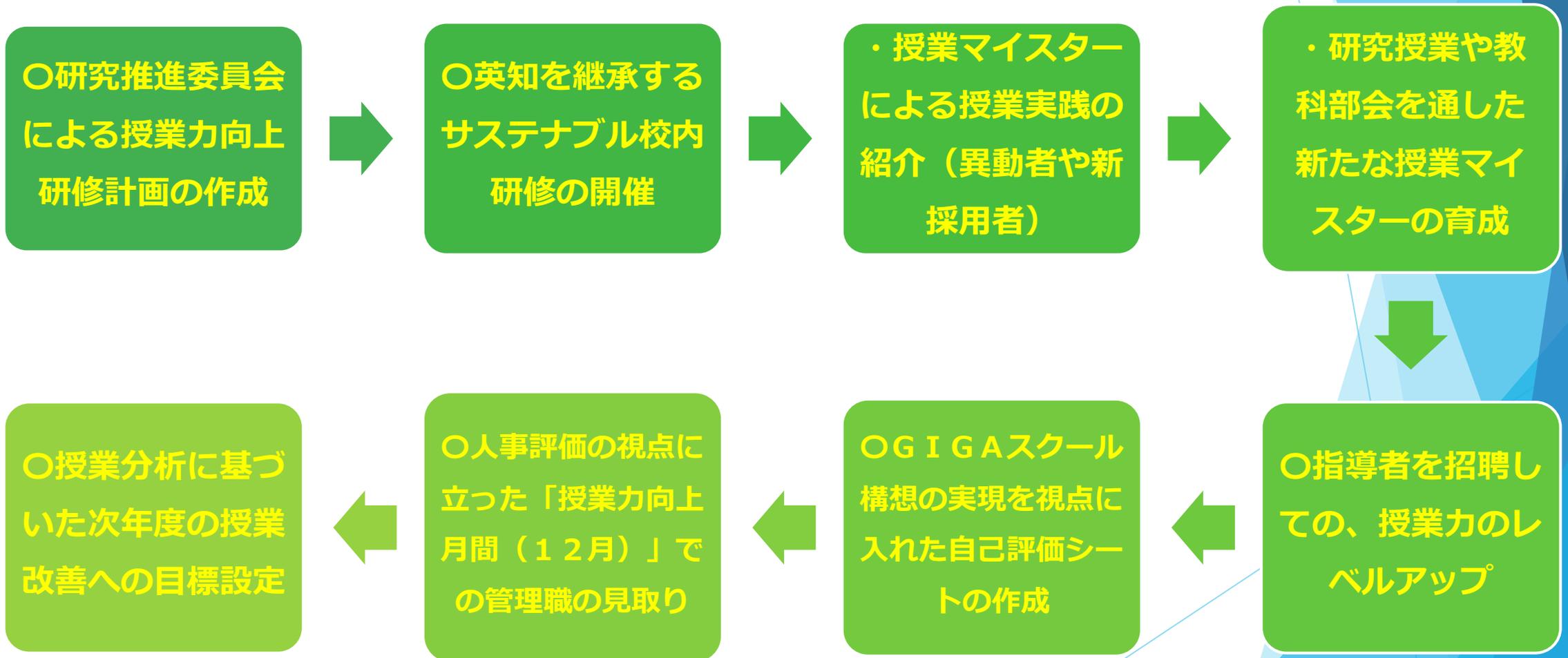


GIGAスクール構想の実現

×

PBLの推進

授業力向上を目指すサステナブル校内研修



方針 1 確かな学力の育成 ～未来を見据えた学校教育への転換～

目標 4 課題発見・解決能力と論理的思考力の 育成を図る教育の推進

- 各教科との関連を図り、教科等横断的で探究的な学習を重視したPBL（Project-based Learning：課題発見・解決型学習）の充実
- 組織的・計画的な教育の質的向上を図るカリキュラム・マネジメントの推進（授業時数特例校制度の活用）
- 産官学との連携による「社会に開かれた教育課程」の推進
- エビデンスベースによる指導改善サイクル（PDCA）の確立



戸田東中型 P B L の構築

- ① 21世紀型スキルの育成
(自律的学習力、課題発見解決能力、ITスキル、論理的思考力等)
- ② 9年間のPBL小中学校一貫教育カリキュラムの策定
- ③ 産官学と連携した学習活動 (文科省授業時数特例校制度の活用)
(文部科学省、地域社会、大学関係、民間企業、NPO等)
- ④ 学級を超えたプロジェクトチームの編成と学習活動
(各教科との関連を図り、教科等横断的な学習を重視したカリキュラム
マネジメント) →全員参加型校内プレゼンテーション発表会の開催
- ⑤ STEAM Labの設置と活用 (ICT教育の知の拠点)
(最先端のPC、3Dプリンター、Adobe pro動画ソフト…)

戸田東中型 P B L（各教科とのコラボ）の推進

全教科（9教科）

× P B L（東雲タイム）

- ・戸田東中カリキュラムマネジメント

（文部科学省授業時数特例校）

→※各教科ダイアグラム（相関図）の作成

※ P B L を核とした各教科チャート（一覧表）の作成

→年間指導計画への位置付け

戸田東小中学校 PBL東雲カリキュラム

総合的な学習の時間

中3 世界と共に生きる ～We are the world～

中2 身近な課題の解決 ～5つのテーマに分かれて～

中1 やってみよう！いつか当たり前になることを

小6 戸田市に幸せの花を咲かせよう

小5 Well Being ～みんなの手で便利を～

小4 モヤモヤヒガーシ解決隊

小3 みんなの力で東小を救え！フードロスZERO！

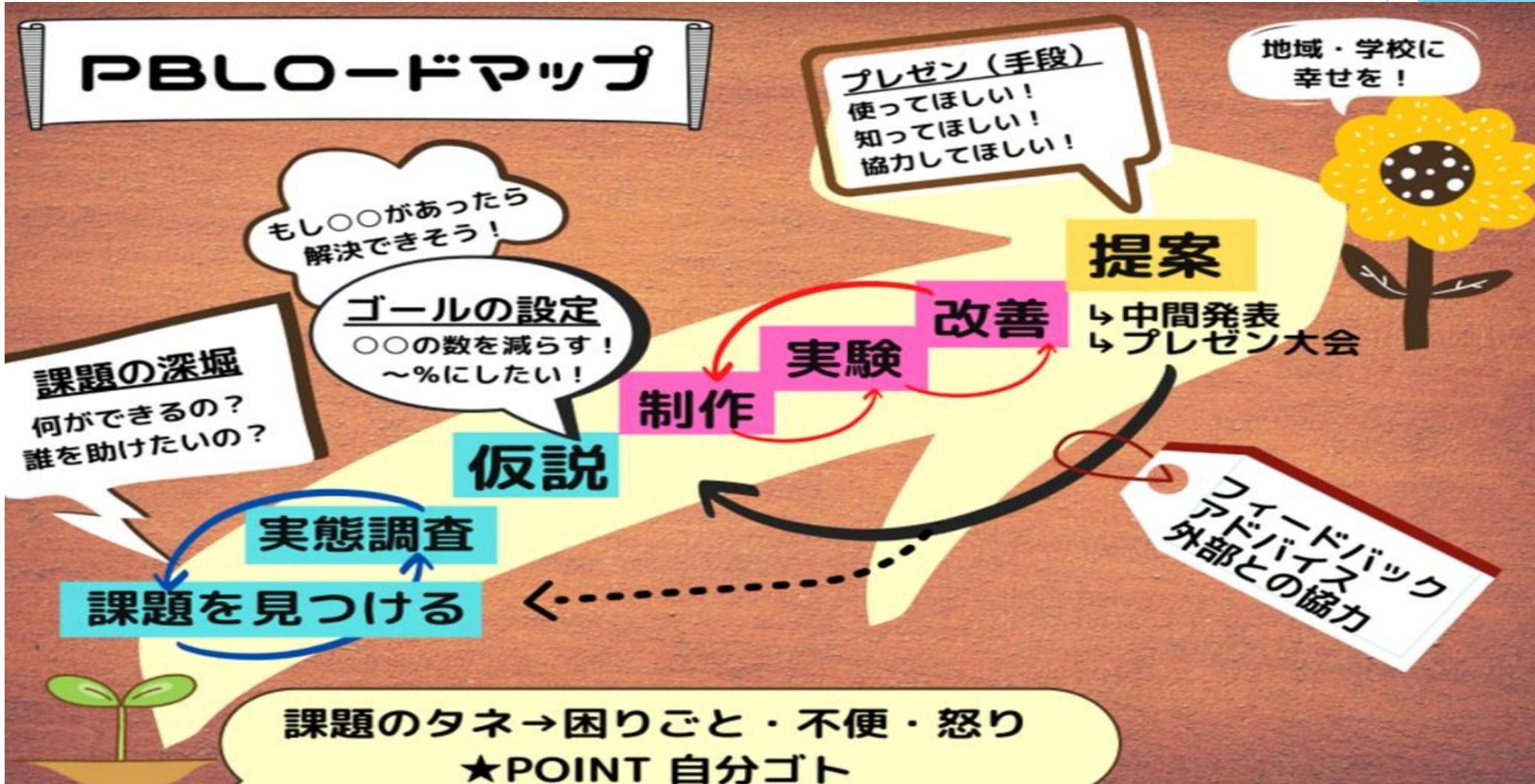
生活科

小2 めざせ！うごくおもちゃクリエイター

小1 きせつマスターになろう！

なのはな学級
東小のスーパーナビゲーターになろう！

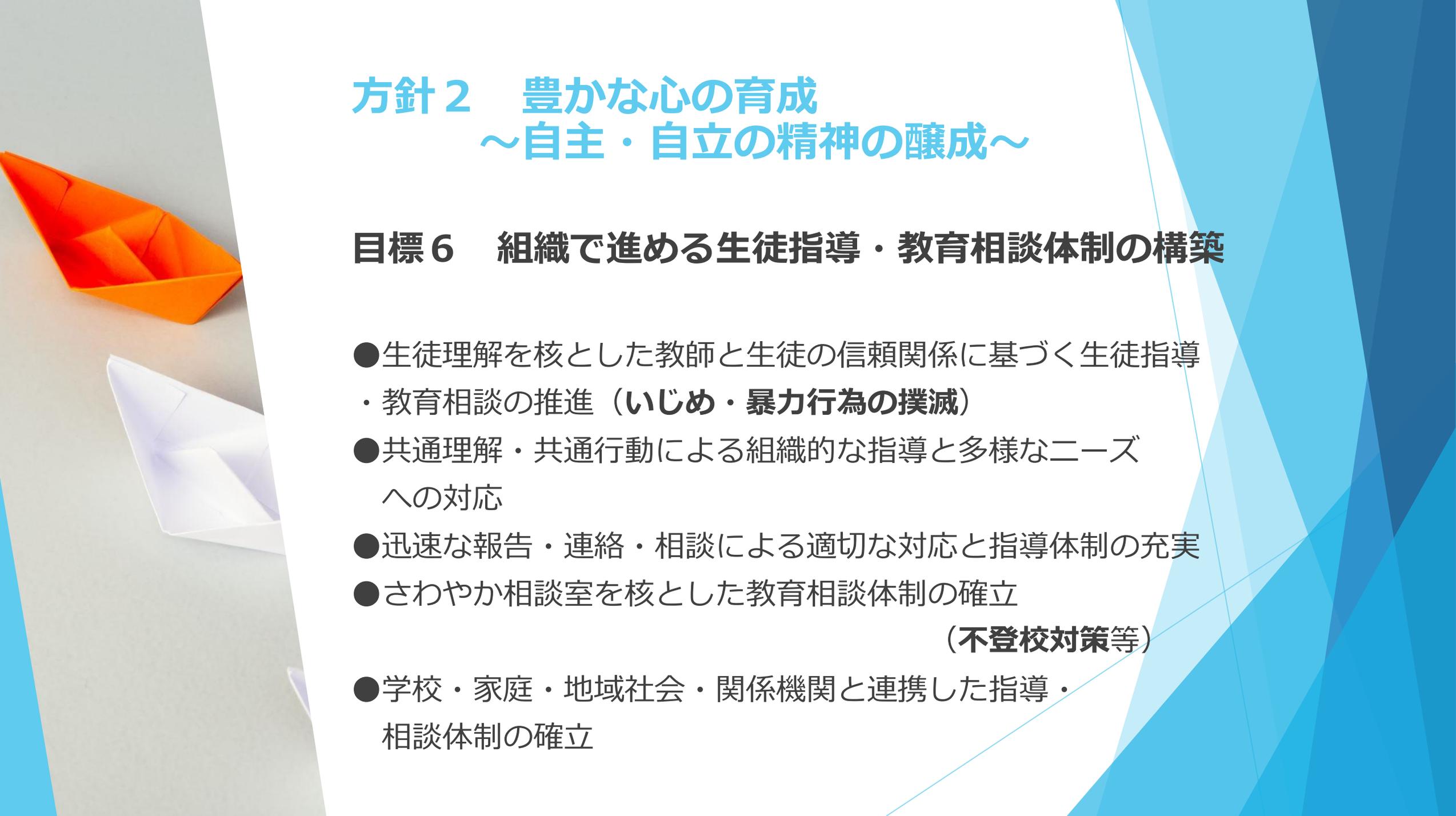
戸田東小中学校 PBLロードマップ



方針 2 豊かな心の育成 ～自主・自立の精神の醸成～

目標 5 生徒の自己肯定感・自己有用感を高める 教育の推進

- 他者と協働し、より良い学校文化を築く教育活動の推進
- 議論する道徳科を要とした教育活動全体を通じた
道徳教育の推進
- 生徒一人一人の役割・責任・達成感を大切にした行事・
体験活動の充実
- PBLや各教科等で自己肯定感を高める授業展開の
工夫・評価・改善



方針2 豊かな心の育成 ～自主・自立の精神の醸成～

目標6 組織で進める生徒指導・教育相談体制の構築

- 生徒理解を核とした教師と生徒の信頼関係に基づく生徒指導・教育相談の推進（いじめ・暴力行為の撲滅）
- 共通理解・共通行動による組織的な指導と多様なニーズへの対応
- 迅速な報告・連絡・相談による適切な対応と指導体制の充実
- さわやか相談室を核とした教育相談体制の確立
(不登校対策等)
- 学校・家庭・地域社会・関係機関と連携した指導・相談体制の確立

方針3 小中一貫教育の推進 ～9年間の系統性ある教育～

目標7 小中一貫教育の教育課程の編成と実施

- 小中学校9年間で目指す子供像、具体的目標・計画等の設定と共通認識
- 小中一貫教育推進のための組織と研修の充実
- 教科等の9年間の系統性・連続性を踏まえた学習指導・体力向上策・特別支援教育（特別支援学級含む）の推進
- 9年間を見通した生徒指導・生活指導、教育相談、キャリア教育の充実
- 小中学校で連携した行事等の教育活動の充実

方針 4 教室と社会をつなぐ教育の推進

目標 8 コミュニティ・スクールの推進と充実

- 教職員・保護者・地域住民等による熟議を通じた共通認識の醸成
- 「学校・家庭・地域」に共通目標と問題意識の共有
- 小中学校合同による学校運営協議会の開催と充実
- 教職員・保護者・地域住民等の当事者意識に立った責任ある学校運営
- 教員の働き方改革への理解と支援



A photograph of a classroom with several black chairs and light-colored wooden desks arranged on a light wood floor. The image is partially obscured by a blue geometric graphic on the right side of the page.

方針4 教室と社会をつなぐ教育の推進

目標9 社会に開かれた教育課程の編成と実施

- 地域社会と共に生徒を育む教育活動の計画と実施
- 産官学との連携による効果的・先進的な教育活動の展開
- 地域と連携したPBL（課題解決型学習）を取り入れた教育活動の積極的な実施
- 家庭・地域社会への積極的な情報発信と説明責任の遂行

方針5 安心・安全な教育環境の充実と 学校運営の改善

目標10 学校・家庭・地域社会が連携した 教育環境の充実

- 関係者、関係機関と連携した安全管理の徹底
- 生徒目線に立った施設・設備の安全点検の実施と迅速な修繕・整備
- 自分の身は自分で守る危機管理意識の醸成を図る安全教育の推進
- 定期的な学校評価の実施と結果を生かした授業や教育活動等の改善

方針6 学校における働き方改革の推進

目標1.1 業務改善を通じた学校運営の推進

- 学校行事や会議等の精選とスリム化による業務量の削減
- 学校業務の電子化による仕事の標準化と効率化
(教材や各種資料の共有、会議資料や便りのペーパーレス化)
- 校務分掌組織等の見直しと市費職員との連携による仕事分担に基づく業務の平準化と統合化
- 教職員の意識改革 (タイムカードによる勤務時間管理、計画性のある業務進行、仕事への協力体制の確立等)
- 部活動複数顧問制による役割分担の推進
- 学校運営協議会 (CS) との協働体制の推進

未来の世界は
自分達で創る

こどもまんなか
の学びを創る

学びに向かう心を創る

御清聴
ありがとうございました

